



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年8月8日

上場会社名 株式会社ダイフク 上場取引所 東
 コード番号 6383 URL <https://www.daifuku.com/jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下代 博
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 財経本部長 (氏名) 日比 徹也 (TEL) 06-6472-1261
 四半期報告書提出予定日 2022年8月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	130,211	8.3	10,275	△2.3	10,541	△2.9	5,835	△24.5
2022年3月期第1四半期	120,220	5.5	10,517	16.5	10,856	9.9	7,726	4.5

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 12,625百万円(△7.4%) 2022年3月期第1四半期 13,631百万円(153.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	46.30	—
2022年3月期第1四半期	61.32	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	503,332	296,432	58.8
2022年3月期	483,322	292,059	60.2

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 296,146百万円 2022年3月期 290,769百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	35.00	—	55.00	90.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	40.00	—	65.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	275,000	13.0	24,000	18.1	25,000	21.7	17,000	22.1	134.90
通期	565,000	10.3	56,500	12.4	57,500	12.2	39,600	10.4	314.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年3月期1Q	126,610,077株	2022年3月期	126,610,077株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	593,063株	2022年3月期	592,870株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年3月期1Q	126,017,092株	2022年3月期1Q	126,015,766株

(注) 期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する自己株式を含んでいます。株式給付信託(BBT)が保有する自己株式数は、2023年3月期第1四半期末 106,500株、2022年3月期末 106,500株です。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

連結業績予想の数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績等は、様々な要因により上記予想数値と異なる場合があります。業績予想に関する事項につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで8月8日に開示し、同日、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報等)	11
(収益認識関係)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(2022年4月1日～6月30日)における世界の経済は、新型コロナウイルス感染症による移動制限等が徐々に緩和され、回復の動きが続きました。一方、原材料・エネルギー価格の高騰をはじめとするインフレ圧力の高まり、中国の都市封鎖に伴い拡大した部材の調達難、欧米における金利上昇と景気後退懸念等、先行き不透明な状況が続いています。

このような経済・事業環境において、当社グループは、3カ年中期経営計画「Value Transformation 2023」の2年目を迎えました。最終年度(2024年3月期)目標の達成に向けて、引き続きDX²(DXスクエア)^{*}を推進するとともに、「事業領域」「経営基盤」「収益性」「ブランド」の各領域において重点施策を掲げ、取り組んでいます。

^{*}DX² = Digital Transformation × Daifuku Transformation

当第1四半期連結累計期間の受注は、アジアの半導体生産ライン向けシステムが大きく伸長したほか、一般製造業・流通業向けシステム、自動車生産ライン向けシステム、空港向けシステムのいずれも好調に推移しました。売上は、部材の調達に要する時間が長期化している影響等を受けたものの、豊富な前期末受注残高をベースに堅調に推移しました。

この結果、受注高は2,106億98百万円(前年同期比52.2%増)となり、四半期ベースでは過去最高を大きく更新しました。また、売上高は1,302億11百万円(同8.3%増)となり、第1四半期連結累計期間としては過去最高となりました。

利益面では、原材料費・人件費等の高騰に加え、特別損失として過年度付加価値税等を計上した影響を受けました。

この結果、営業利益は102億75百万円(同2.3%減)、経常利益は105億41百万円(同2.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は58億35百万円(同24.5%減)となりました。

なお、当第1四半期連結累計期間の当社グループの平均為替レートは、米ドルで117.81円(前年同期107.15円)、中国元で18.56円(同16.46円)、韓国ウォンで0.0975円(同0.0954円)等となりました。為替の変動により、前年同期比で受注高は約136億円、売上高は約52億円、営業利益は約2億円、それぞれ増加しました。

〔セグメントごとの業績〕

セグメントごとの業績は次のとおりです。受注・売上は外部顧客への受注高・売上高を、セグメント利益は親会社株主に帰属する四半期純利益を記載しています。

報告セグメントに関する詳細は、後記(セグメント情報等)をご覧ください。

なお、当社グループのうち、株式会社ダイフク、株式会社コンテックをはじめとする国内の会社は3月末決算、海外子会社はそのほとんどが12月末決算であり、それぞれ2022年4月から6月末、2022年1月から3月末までの期間の状況を記載しています。

① 株式会社ダイフク

受注は、半導体・液晶生産ライン向けシステムが大きく伸長し、一般製造業・流通業向けシステム、自動車生産ライン向けシステムは好調に推移しました。売上は、豊富な前期末受注残高をベースに堅調に推移しました。

セグメント利益は、一般製造業・流通業向けシステムの売上増がけん引したものの、原材料費等が高騰している影響により、前年同期の実績には届きませんでした。

この結果、受注高は997億70百万円(前年同期比75.5%増)、売上高は587億42百万円(同4.8%増)、セグメント利益は52億39百万円(同15.8%減)となりました。

② コンテックグループ

日本市場では、半導体関連業界が依然好調なことに加え、製造業の設備投資が回復を続けているものの、部材調達の厳しさに伴って生産・販売に遅れが生じています。

一方、米国市場では、主力の医療機器業界や空港セキュリティ関連業界向けの販売が回復しつつあり、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、受注高は52億71百万円(前年同期比11.4%増)、売上高は36億72百万円(同5.1%増)となりました。

セグメント利益は、部材価格高騰の影響により2億53百万円(同49.3%減)となりました。

③ Daifuku North America Holding Company (DNAHC) グループ

受注は、経済活動の再開等を背景に半導体生産ライン向けシステム、自動車生産ライン向けシステム、空港向けシステムが伸長したものの、一般製造業・流通業向けシステムは好調だった前年同期の実績には及びませんでした。

売上は、自動車生産ライン向けシステムが僅かに減少したものの、一般製造業・流通業向けシステム、半導体生産ライン向けシステム、空港向けシステムは前期末受注残高をベースに順調に推移しました。

この結果、受注高は400億75百万円（前年同期比31.2%増）、売上高は351億28百万円（同13.5%増）、セグメント利益は18億19百万円（同30.3%増）となりました。

④ Clean Factomation, Inc. (CFI)

受注は、半導体メーカーの旺盛な投資が続いていることから前年同期の実績を大幅に上回りましたが、売上は制御部品の入荷が遅れたことなどの影響を受けました。

この結果、受注高は211億60百万円（前年同期比130.6%増）、売上高は70億3百万円（同31.2%減）、セグメント利益は3億38百万円（同63.5%減）となりました。

⑤ その他

「その他」は、当社グループを構成する連結子会社69社のうち、上記②③④以外の国内外の子会社です。これらの各社は、マテリアルハンドリングシステム・機器、洗濯機の製造や販売等を行っています。主な子会社の状況は、次のとおりです。

国内子会社：

株式会社ダイフクプラスモアは、サービスステーション、カーディーラー向けの洗濯機、トラック・バス用の大型洗濯機、及び関連商品の販売等を行っています。第1四半期の販売台数は前年同期の実績には及びませんでした。資源エネルギー庁の新たな補助金により年間では伸長を見込んでいます。

海外子会社：

中国、台湾、韓国、タイ、インドなどに生産拠点があり、一般製造業・流通業向けシステム、半導体・液晶生産ライン向けシステムや自動車生産ライン向けシステムなど、それぞれの事業におけるグローバルな最適地生産・調達体制の一翼を担いつつ、販売・工事・サービスも行っていきます。

また、北中米、アジア、欧州、オセアニアに販売・工事・サービスを行う海外子会社を幅広く配置しています。

受注・売上ともに、アジア向け半導体・液晶生産ライン向けシステムが好調に推移したことなどにより大きく増加しました。セグメント利益は、一部の大型案件で追加コストを計上した前年同期から大きく改善しました。

この結果、受注高は444億20百万円（前年同期比19.6%増）、売上高は257億82百万円（同28.2%増）、セグメント利益は8億1百万円（同13億37百万円増益）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

資産は、前連結会計年度末に比べ200億9百万円増加し、5,033億32百万円となりました。主な要因は、未成工事支出金等が33億52百万円、原材料及び貯蔵品が56億39百万円、使用権資産を中心に有形固定資産が48億82百万円それぞれ増加したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ156億36百万円増加し、2,069億円となりました。主な要因は、契約負債が117億12百万円増加したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ43億73百万円増加し、2,964億32百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が11億1百万円減少したものの、為替換算調整勘定が73億35百万円増加したことによるものです。

(キャッシュ・フローの状況)

当第1四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ24億56百万円増加し、1,211億29百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は、109億73百万円となりました(前年同四半期は281億55百万円の増加)。これは主に棚卸資産の増加額が84億99百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が84億61百万円、契約負債の増加額が97億25百万円あったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は、28億84百万円となりました(前年同四半期は18億55百万円の減少)。これは主に、固定資産の取得による支出が29億92百万円あったことによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は、98億54百万円となりました(前年同四半期は116億11百万円の減少)。これは主に、配当金の支払額が69億35百万円、短期借入金の返済による支出等が18億46百万円あったことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年5月13日に発表した、2023年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想を以下のように変更しました。

売上高は当初の計画通りの進捗が見込まれるものの、利益面で原材料費・人件費等の高騰及び第1四半期に過年度付加価値税等を特別損失として計上した影響を受ける見通しとなりました。なお、通期の業績予想については、採算の良い案件の売上が下期に見込まれるため変更していません。

一方、受注高は2023年3月期第2四半期連結累計期間の予想値3,800億円を3,900億円に修正します。これは、アジア向けの半導体生産ライン向けシステム、国内向けの一般製造業・流通業向けシステムの需要が引き続き旺盛であることが主な要因です。通期受注高の予想についても、同様に6,000億円を6,300億円に修正します。

2023年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益(円)
前回発表予想(A)	275,000	27,500	28,000	18,500	146.81
今回発表予想(B)	275,000	24,000	25,000	17,000	134.90
増減額(B-A)	—	△3,500	△3,000	△1,500	—
増減率(%)	—	△12.7%	△10.7%	△8.1%	—
(ご参考)前期連結実績 (2022年3月期第2四半期連結累計期間)	243,422	20,327	20,540	13,919	110.46

(注) 上記予想は、当社が本業績予想の発表日において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績等は様々な要因で予想値と異なる結果となる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	118,769	121,228
受取手形・完成工事未収入金等及び契約資産	208,915	208,884
商品及び製品	7,045	7,587
未成工事支出金等	11,430	14,782
原材料及び貯蔵品	22,778	28,418
その他	13,148	13,641
貸倒引当金	△777	△793
流動資産合計	381,310	393,749
固定資産		
有形固定資産	55,215	60,097
無形固定資産		
のれん	3,956	4,031
その他	6,764	6,663
無形固定資産合計	10,720	10,694
投資その他の資産		
その他	36,079	38,794
貸倒引当金	△3	△3
投資その他の資産合計	36,076	38,790
固定資産合計	102,012	109,583
資産合計	483,322	503,332
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	48,046	45,325
電子記録債務	28,084	31,249
短期借入金	22,449	20,355
未払法人税等	7,252	4,808
契約負債	40,682	52,394
工事損失引当金	711	480
その他	26,419	32,933
流動負債合計	173,645	187,549
固定負債		
長期借入金	3,907	3,800
退職給付に係る負債	7,494	7,632
その他の引当金	327	363
その他	5,888	7,554
固定負債合計	17,617	19,350
負債合計	191,263	206,900

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	31,865	31,865
資本剰余金	20,691	20,397
利益剰余金	227,609	226,507
自己株式	△901	△903
株主資本合計	279,264	277,866
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,107	3,953
繰延ヘッジ損益	△637	△1,030
為替換算調整勘定	8,380	15,715
退職給付に係る調整累計額	△344	△358
その他の包括利益累計額合計	11,504	18,279
非支配株主持分	1,289	285
純資産合計	292,059	296,432
負債純資産合計	483,322	503,332

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
売上高	120,220	130,211
売上原価	99,261	107,829
売上総利益	20,959	22,382
販売費及び一般管理費		
販売費	3,618	4,194
一般管理費	6,823	7,912
販売費及び一般管理費合計	10,442	12,106
営業利益	10,517	10,275
営業外収益		
受取利息	84	103
受取配当金	199	232
受取賃貸料	57	68
助成金収入	106	157
その他	148	49
営業外収益合計	596	610
営業外費用		
支払利息	114	74
為替差損	120	187
その他	21	82
営業外費用合計	257	344
経常利益	10,856	10,541
特別利益		
投資有価証券売却益	18	15
受取保険金	208	—
その他	27	3
特別利益合計	255	18
特別損失		
固定資産除売却損	115	10
過年度付加価値税等	—	2,078
その他	0	10
特別損失合計	116	2,098
税金等調整前四半期純利益	10,995	8,461
法人税、住民税及び事業税	4,392	4,944
法人税等調整額	△1,321	△2,321
法人税等合計	3,071	2,623
四半期純利益	7,924	5,837
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,726	5,835
非支配株主に帰属する四半期純利益	197	2

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△79	△153
繰延ヘッジ損益	△5	△392
為替換算調整勘定	5,828	7,324
退職給付に係る調整額	△51	△14
持分法適用会社に対する持分相当額	14	23
その他の包括利益合計	5,706	6,787
四半期包括利益	13,631	12,625
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,321	12,610
非支配株主に係る四半期包括利益	309	15

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,995	8,461
減価償却費	1,708	1,927
受取利息及び受取配当金	△284	△336
支払利息	114	74
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	18,048	5,411
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,290	△8,499
仕入債務の増減額(△は減少)	1,116	△2,387
契約負債の増減額(△は減少)	△1,449	9,725
その他	5,136	3,249
小計	36,678	17,625
利息及び配当金の受取額	283	321
利息の支払額	△82	△70
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△9,224	△6,937
その他の収入	501	34
営業活動によるキャッシュ・フロー	28,155	10,973
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△1,948	△2,992
固定資産の売却による収入	4	82
投資有価証券の売却による収入	31	35
投資有価証券の取得による支出	△7	△9
その他	64	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,855	△2,884
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,911	△1,846
長期借入金の返済による支出	—	△600
自己株式の取得による支出	△2	△1
配当金の支払額	△6,304	△6,935
その他	△392	△470
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,611	△9,854
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,329	4,221
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	18,017	2,456
現金及び現金同等物の期首残高	94,079	118,672
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	281	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	112,378	121,129

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

ASC第842号「リース」の適用

米国会計基準を採用する北米子会社において、ASC第842号「リース」を、当第1四半期連結会計期間の期首より適用しています。これにより当該北米子会社における借手のリース取引については、原則としてすべてのリースを四半期連結貸借対照表に資産及び負債として計上しています。

当該会計基準の適用にあたっては、経過措置で認められている当該会計基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しています。

この結果、当連結会計年度の期首において、有形固定資産に含まれる使用权資産が1,514百万円、流動負債の「その他」に含まれるリース債務が449百万円、固定負債の「その他」に含まれるリース債務が1,127百万円それぞれ増加しています。なお、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

(セグメント情報等)

前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
売上高							
外部顧客への売上高	56,026	3,493	30,944	10,183	100,648	20,111	120,759
セグメント間の内部売上高 又は振替高	8,537	3,384	146	567	12,636	1,636	14,273
計	64,564	6,878	31,090	10,751	113,284	21,748	135,032
セグメント利益	6,225	500	1,396	928	9,050	△535	8,514

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	113,284
「その他」の区分の売上高	21,748
セグメント間取引消去	△14,273
その他の連結上の調整額	△539
四半期連結財務諸表の売上高	120,220

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	9,050
「その他」の区分の利益	△535
関係会社からの配当金の消去	△412
その他の連結上の調整額	△375
四半期連結財務諸表の 親会社株主に帰属する四半期純利益	7,726

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
売上高							
外部顧客への売上高	58,742	3,672	35,128	7,003	104,546	25,782	130,329
セグメント間の内部売上高 又は振替高	10,617	2,474	203	620	13,916	3,820	17,737
計	69,360	6,147	35,331	7,623	118,463	29,603	148,066
セグメント利益	5,239	253	1,819	338	7,650	801	8,452

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

2 報告セグメントの売上高及び利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

売上高	金額
報告セグメント計	118,463
「その他」の区分の売上高	29,603
セグメント間取引消去	△17,737
その他の連結上の調整額	△117
四半期連結財務諸表の売上高	130,211

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,650
「その他」の区分の利益	801
関係会社からの配当金の消去	△2,588
その他の連結上の調整額	△28
四半期連結財務諸表の 親会社株主に帰属する四半期純利益	5,835

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年6月30日)

1 業種別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
自動車及び自動車部品	4,277	22	4,367	—	8,667	5,078	13,745
エレクトロニクス	18,227	190	5,641	10,183	34,242	5,834	40,077
商業及び小売業	19,126	1,846	11,086	—	32,060	5,193	37,253
運輸・倉庫	4,552	20	1,072	—	5,645	368	6,014
機械	1,519	238	89	—	1,847	242	2,090
化学・薬品	2,545	868	13	—	3,427	528	3,956
食品	2,335	0	401	—	2,737	351	3,089
鉄鋼・非鉄金属	502	4	3	—	510	26	536
精密機器・印刷・事務機	1,214	257	1	—	1,472	108	1,581
空港	139	8	7,229	—	7,377	2,179	9,557
その他	1,584	36	1,037	—	2,658	198	2,857
外部顧客への売上高	56,026	3,493	30,944	10,183	100,648	20,111	120,759
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	△539
四半期連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	120,220

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

2 仕向地別の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
日本	37,731	2,205	—	—	39,936	2,811	42,747
海外	18,295	1,288	30,944	10,183	60,711	17,300	78,011
北米	197	983	27,623	0	28,805	903	29,709
アジア	17,384	246	253	10,182	28,067	12,722	40,789
中国	5,899	135	26	359	6,420	5,410	11,831
韓国	2,391	36	1	9,823	12,253	1,993	14,246
台湾	9,011	37	—	—	9,048	3,089	12,138
その他	81	37	225	—	344	2,228	2,573
欧州	704	57	2,244	—	3,006	1,280	4,287
中南米	1	0	572	—	573	598	1,172
その他	8	0	250	—	259	1,794	2,053
外部顧客への売上高	56,026	3,493	30,944	10,183	100,648	20,111	120,759
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	△539
四半期連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	120,220

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

3 収益認識の時期別の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
一時点で移転される財	9,331	2,669	3,436	178	15,615	5,081	20,697
一定の期間にわたり移転される財	46,695	824	27,507	10,005	85,032	15,029	100,062
外部顧客への売上高	56,026	3,493	30,944	10,183	100,648	20,111	120,759
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	△539
四半期連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	120,220

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1 業種別の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
自動車及び自動車部品	4,214	36	3,835	—	8,086	3,424	11,511
エレクトロニクス	18,150	135	6,171	7,003	31,460	11,756	43,216
商業及び小売業	19,694	1,886	15,902	—	37,483	4,159	41,642
運輸・倉庫	4,584	10	1,688	—	6,283	1,991	8,275
機械	2,430	214	110	—	2,755	198	2,954
化学・薬品	2,867	1,012	3	—	3,883	336	4,219
食品	2,279	1	271	—	2,552	610	3,163
鉄鋼・非鉄金属	638	0	2	—	641	91	732
精密機器・印刷・事務機	490	296	1	—	788	388	1,176
空港	836	46	5,816	—	6,699	2,419	9,119
その他	2,556	30	1,324	—	3,911	404	4,316
外部顧客への売上高	58,742	3,672	35,128	7,003	104,546	25,782	130,329
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	△117
四半期連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	130,211

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

2 仕向地別の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
日本	43,435	2,148	—	—	45,584	2,328	47,913
海外	15,307	1,523	35,128	7,003	58,962	23,453	82,416
北米	455	1,144	31,908	—	33,508	1,030	34,538
アジア	14,054	335	143	7,003	21,536	18,854	40,390
中国	5,211	181	8	28	5,430	8,785	14,215
韓国	2,398	54	—	6,974	9,427	1,526	10,953
台湾	6,202	59	—	—	6,262	6,097	12,359
その他	243	39	134	—	416	2,444	2,861
欧州	120	43	2,714	—	2,878	1,134	4,012
中南米	3	—	255	—	258	295	554
その他	673	0	106	—	779	2,139	2,919
外部顧客への売上高	58,742	3,672	35,128	7,003	104,546	25,782	130,329
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	△117
四半期連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	130,211

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。

3 収益認識の時期別の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	ダイフク	コンテック	DNAHC	CFI	計		
一時点で移転される財	9,103	2,424	2,914	174	14,616	4,912	19,528
一定の期間にわたり移転される財	49,639	1,248	32,213	6,828	89,930	20,870	110,801
外部顧客への売上高	58,742	3,672	35,128	7,003	104,546	25,782	130,329
その他の連結上の調整額	—	—	—	—	—	—	△117
四半期連結財務諸表の売上高	—	—	—	—	—	—	130,211

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、その内容は国内外の子会社です。